

日本の食料について考えよう！

食料自給率が低下した理由は

4月19日、松本市消費者の会主催で「市民公開講座」が開講され、長野農政事務所地域第一課では、『日本の食料について考えよう！』と題して講演を行いました。

当日は、会員と公募により集まった、市民45名が参加。

食料自給率が“なぜ”低下したかを説明し、農林水産省の行っている、「農山漁村の6次産業化の推進」や「戸別所得補償モデル対策」などの食料自給率向上に向けた政策説明を行いました。

「食事バランスガイド」を活用した、お米を中心とした日本型食生活の推進と、「教育ファーム」は、自然の恩恵に感謝し、食に関する活動への理解深めることを目的としていることの説明も行いました。



消費者の会の講演

水代わり飲まないで、清涼飲料水
～表示を読みとる力～

展示コーナー

油断大敵 もしも輸入が途絶えたら
～食事はこめ・いも？～

輸入が途絶えた場合の献立例の展示



長野農政事務所地域第一課